

※発注品の「型式・材質・納期・仕様書記載品以外の同等品認定・その他の内容」等について疑義がある場合は、事前に仕様書記載の担当課へ直接問い合わせること(但し、担当者が一時不在や施設により平日閉庁の場合があるので注意すること)。担当課の事前承認なき場合は、仕様書記載どおりに履行すること。
見積時の質疑・同等品認定、随意契約何への無承認事項の記載、落札後の条件変更等は認めない。

1

購入仕様書

件名 周船寺中学校 第2理科室実験台(生徒用)

履行場所 福岡市立周船寺中学校第2理科室

履行期間 契約締結の日 から 令和8年3月27日まで

品名 内訳のとおり

＜ 内 訳 ＞

	品 名	規 格	単 位	数 量	備 考
1	第2理科室 実験台 (生徒用)	基準図表7	台	10	図面別途 福岡市中学校理科室第2分野生徒机 (基準図表7) 納品場所: 校舎3階第2理科室(エレベーター使用可)

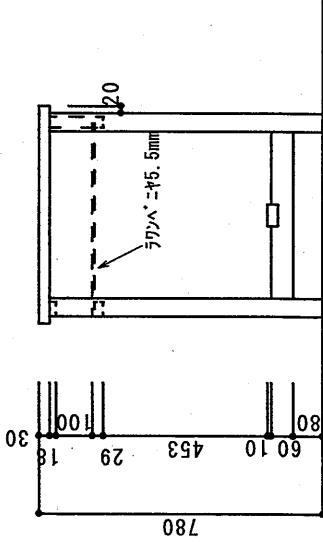
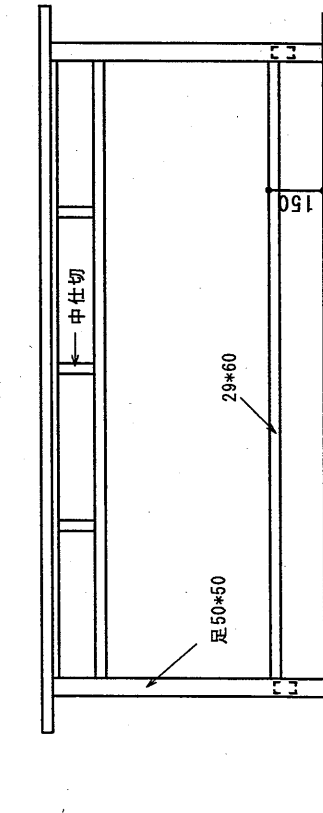
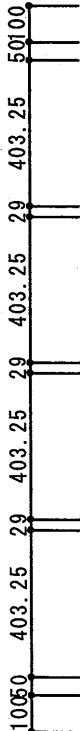
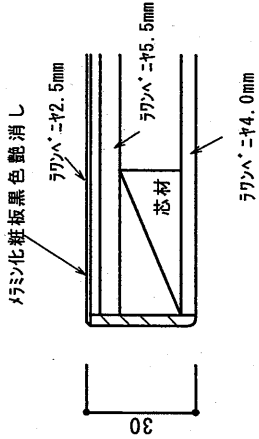
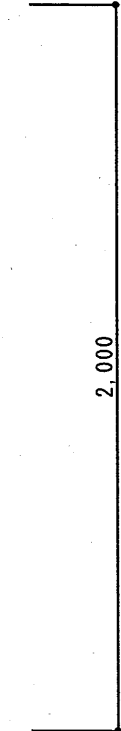
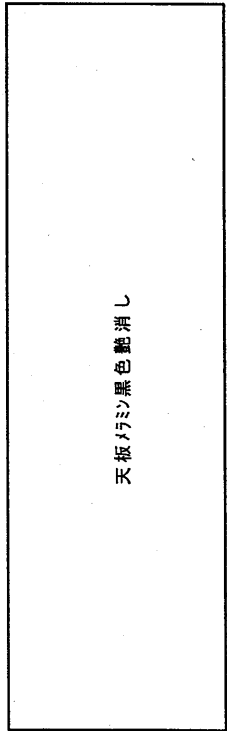
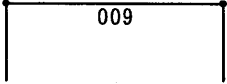
その他

- 1 現在、建設工事中であるため、現場状況にあわせた対応をすること。また、納品日程は総務課の担当者と事前に協議を行なうこと。
- 2 納入前に本庁にて持込検査を受けること。
- 3 使用部材が仕様を満たすことを証する証明書の提出をすること。但し、塗料に関して、証明書の取得が困難な場合はこの限りではない。
- 4 搬入・設置にあたっては、当該物品は当然のこと、施設や他の物品を損傷・破損することのないよう相当な施設養生等を施し、善良な管理者の注意義務を怠ってはならない。また、損害が生じた場合、業者の負担において現状を復帰しなければならない。
- 5 不明な点があれば、下記担当者と打ち合わせのうえ進めること。

【問い合わせ先】

福岡市教育委員会総務部総務課
市役所内 11階
担当:大西
電話:092-711-4626

福岡市中学校理科室第2分野生徒机 規格2000*600*780mm ⑦	
主材	ラワン材及び一般雑木(集成材可)
塗装	ただし集成材使用の場合はホム47Mデ'ビド'放散量が日本農林規格(JAS)でF00の基準を満たしていること。 また合板についてもF00の基準を満たしていること。 赤珪の粉7リ-43割目止めの上、クイヤカ-艶消し /ホム47Mデ'ビド'対応の塗料を使用すること。



※発注品の「型式・材質・納期・仕様書記載品以外の同等品認定・その他の内容」等について疑義がある場合は、事前に仕様書記載の担当課へ直接問い合わせること(但し、担当者が一時不在や施設により平日閉庁の場合があるので注意すること)。
担当課の事前承認なき場合は、仕様書記載どおりに履行すること。
見積時の質疑・同等品認定、随意契約等への無承認事項の記載、発札後の条件変更等は認めない。

2

購入仕様書

件名 周船寺中学校 第1理科室実験台(生徒用)

履行場所 福岡市立周船寺中学校第1理科室

履行期間 契約締結の日 から 令和8年3月27日まで

品名 内訳のとおり

＜ 内 訳 ＞

	品 名	規 格	単 位	数 量	備 考
1	第1理科室 実験台 (生徒用)	基準図表4	台	10	図面別途 福岡市中学校理科実験台(生徒用) (基準図表4) 納品場所: 校舎3階第1理科室(エレベーター使用可)

その他

- 1 現在、建設工事中であるため、現場状況にあわせた対応をすること。また、納品日程は総務課の担当者と事前に協議を行なうこと。
- 2 納入前に本庁にて持込検査を受けること。
- 3 使用部材が仕様を満たすことを証する証明書の提出をすること。但し、塗料に関して、証明書の取得が困難な場合はこの限りではない。
- 4 搬入・設置にあたっては、当該物品は当然のこと、施設や他の物品を損傷・破損することのないよう相当な施設養生等を施し、善良な管理者の注意義務を怠ってはならない。また、損害が生じた場合、業者の負担において現状を復帰しなければならない。
- 5 不明な点があれば、下記担当者と打ち合わせのうえ進めること。

【問い合わせ先】
福岡市教育委員会総務部総務課
市役所内 11階
担当:大西
電話:092-711-4626

福岡市中学校理科実験台 (生徒用) 規格 1300*800*780 ④	
主材	ツツ材及び一般雑木 (集成材可)
	天板 ミニ化粧板貼仕上
	棚板 ツツ合板 75.5mm 使用 (地板共)
	ただし集成材使用の場合は耐湿性・耐腐蝕性が 日本産林規格 (JAS) でF00の基準を満たしていること。 また合板についてもF00の基準を満たしていること。
塗装	赤錆の粉ケリ・A3耐自止めの上、ウレタン・肌消し /ソリッド・トップ対応の塗料を使用すること。

